



今後の予定と 講座の報告

☆講演会

「編集者が語る絵本の話」

童心社会長 酒井京子

2018年2月26日 14時～ウインクあいち

※満席のためキャンセル待ち

次号で詳しく報告します

☆紙芝居講座

2018年2月12日（月祝日）13:30～

場所 金山 労働会館本館2階

講師 松井エイコ

主催 全国福祉保育労働組合東海地方本部

052-881-2971

現場保育士さん向けの講座です

☆「やってみましょう！紙芝居」

2018年2月2日（金）千種図書館

講師 近藤洋子

☆『紙芝居百科』発売されました

おすすめ作品がカラーで紹介

演じ方からプログラムまでわかると

好評です！



『紙芝居百科』

紙芝居文化の会

企画制作

童心社刊

1300円（税別）

紙芝居はうすも掲載されています！

コラム 『ま・間・ま』

2017年の秋は子どもの本の編集者・デザイナー・絵本作家さんたちの仕事ぶりを聞く機会がありました。皆さんそれぞれのその根底には子どもたちへ自然の真の姿を伝えよう、それも学術的ではなく、いかに美しく、楽しく！という姿勢がありました。中でも動物絵本で知られる藪内正幸氏にあっては、子ども時代、絵が描けない悔しさから動物園に行き1日中観察し続け、帰宅後も4つ足で歩いていたというエピソードを聞きました。そんな基本があって、あの美しい躍動感のある動物たちの世界に私たちを案内し楽しませてくれるのでしょうか。そしてもう一つ、真摯な仕事の成果としてできたのが『紙芝居百科』です。紙芝居関係者が英知を結集し、子どもたちに真の楽しさ・面白さを伝えようとしています。特に紙芝居は大人の関わりが重要で、その姿勢によっていい共感を生んでいく世界。その有り様を分からせてくれる資料になっています。いい仕事ぶりがあって、作品ができてもそれを伝える人がいなければなにも動きません。それは私たち大人の重要な任務であることを改めて気づかされました。



紙芝居文化の会 あいち とは

こんなことやりたい

- ・通信を発行します
- ・紙芝居講座を開催します
- ・情報交換をします



会員になるには

紙芝居文化の会にご入会下さい

詳しくは、紙芝居文化の会：

<http://www.geocities.jp/kamishibai/>

または、下記連絡先まで

紙芝居文化の会あいちの会費は不要です

愛知県内だけでなく近隣の方々もご参加下さい

連絡先

〒470-0126 日進市赤池町村東149

紙芝居文化の会あいち代表 近藤洋子

FAX 052-801-5794

kamishibaiaichi@yahoo.co.jp

紙芝居文化の会 あいち

第10号
2018.1



紙芝居文化の会とは

- ・紙芝居を愛する人
 - ・紙芝居に興味のある人
 - ・紙芝居を演じたい人
 - ・さまざまな思いの人、海外の人とも出会い、交流する場です。
- (2001年創立 事務局東京都三鷹市)

平和の紙芝居リレーin日進

2017.9.4 (月) 14:00~ 紙芝居はうす

平和の紙芝居リレーを愛知県で開催しました。

平和の大切さを伝えたい想いはあっても、難しく、内容が重いからと、つい敬遠していませんか。

今回、紙芝居『二度と』の作者松井エイコさんをお迎えしました。いつも活動している紙芝居はうすとこども図書室、小学校です。プログラムも平和紙芝居だけでなく楽しい作品もいっぱい。

どうしてこの作品が平和なの?その答えがわかりました。

(プログラム)

- ・かりゆしの海
- ・おうさまさぶちゃん
- ・ころころじゅっぽーん
- ・二度と
- ・象牙の櫛
- ・あの日の空の青を(図書)
- ・おおきくおおきくおおきくなあれ



(参加者感想)

平和紙芝居と聞き戦争に関する作品を紹介するのだと思っていました。ところが、私に提案いただいたのは

『おうさまさぶちゃん』えっ、どうして!?と思いましたが、ユーモアあるこの作品を演じました。

他にも『かりゆしのうみ』など。

今回紙芝居はうすに来ていただいた、松井エイコさんから最後にどうしてこの作品なのかとお話しがありました。

それは(かりゆしのうみ)自然を大切にする気持ち

(おうさまさぶちゃん)お母さんの子どもへの包み込む愛情、成長する子どもを願う心、この想いは平和だから、平和へつながるものだからと。

私はうなずきながら胸が熱くなりました。

そしてこのリレーを通して平和への想いをより深く願いました。



持ち寄りランチも
楽しみました!

平和の紙芝居リレーin豊田

2017.9.5 (火) 13:00~ 豊田市こども図書室



(参加者感想)

- ・とても勉強になりました。特に『象牙の櫛』の作者の考え方、『二度と』の深い内容など知ることができ、よかったです
- ・たくさんの実演、作品への想いやお話をとても心に染みました多くの子どもたちに紙芝居を通して平和を伝えたい。
- ・今日、初参加させていただきました。このような活動をされていることを知り感動しました。平和は私たち一人ひとりが作り続けなければ保てないものですね。1人で100歩進むより100人で1歩進むことがどれだけ大切なことか!

(プログラム)

- ・みんなでほん!
- ・くいしんぼうのまんまるおに
- ・かりゆしの海
- ・象牙の櫛
- ・二度と
- ・あの日の空の青を(図書)
- ・おおきくおおきくおおきくなあれ



(参加者感想)

- ・特に心に残ったのはベトナムにまつわる話。平和の紙芝居リレーをバトンを受け継いで計画していくと思います。
- ・わきあいあいとした雰囲気のなかで、作者の想いを知ることができ、また、演じ方も勉強になりました。
- ・人間は本来、平和で幸せであるべきだという言葉、身にしました。平和リレー続けていきます。
- ・まついのりこさんがエイコさんに自分のこども時代の戦争の体験を語り、母としての想いを残した言葉は感動的でした。

平和の紙芝居リレーは
いつでも どこでも 開催できます
次は あなたのお近くで

平和の紙芝居リレーin小学校

2017.9.5 (火) 講師 松井エイコ

松井エイコさんが豊田市市内の小学校を訪問して、6年生と平和の授業を創りました。

授業を「受ける」のではなく、子どもたちも戦争と平和についてイメージを出し合い、平和な未来をともにつくろうね、と語り合いました。



(子どもたちの感想より)

- ・エイコさんの夢は戦争をなくすこと。しかし一人だけの力は弱いのでたくさんの人々が集まった時、大きな力になる。ぼくも戦争のない世界を作りたい
- ・わたしはミサイルのことでこわいです。おじいちゃんやおばあちゃんは苦しんだと思います。みんなのことを考えて、戦争を終わりたい。
- ・ぼくは戦争をやる意味をと思いました。
- ・たくさんの人を喜ばせたいし、まだ生まれてない人に教育して、たのしませるのが、ぼくの仕事です。

(プログラム)

- ・戦争と平和のイメージを出し合う
- ・まついのりこさんの手紙
- ・二度と
- ・へんしーん



(子どもたちの感想より)

- ・もし戦争をいっぱいやっている世界だったなら、ぼくはもうへたいになっていたのかもしれません
- ・終戦から72年がたったけど、今もひばくしゃは本当にかんなしいものなので国連にうたっているのをニュースや新聞で見ました。やっぱり二度と起ってはいけない。
- ・これからはぜったい戦争をしてはいけないと思いました。平和も難しいものだと思いました。
- ・戦争はとてもこわいです。戦争はやめてほしいです。もう人は死んでほしくはありません。原爆はもうおとさないでほしいです

学校での開催には先生方、地域の方々の
協力により実現できました。
ありがとうございました

